

栗山町 橋梁長寿命化修繕計画の策定について

意見聴取日：令和 2 年 2 月 19 日

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所

寒地基礎技術研究グループ 寒地構造チーム

上 席 研 究 員 葛西 聡



総括主任研究員 今野 久志



主 任 研 究 員 秋本 光雄



[意見・コメント]

栗山町において、近接目視点検結果を踏まえて策定された橋梁長寿命化修繕計画のうち、全体計画および以下の個別橋梁 4 橋について計画変更の妥当性を確認した。

《個別に確認した橋梁》

中山橋、万世橋、南通り橋、ふれあい橋

今後の維持管理や修繕計画等について、主な留意点を下記に示すので参考とされたい。

記

- ・個別橋梁毎の定期点検の頻度について、一部の橋梁で 5 年を超えているものがあるため、5 年以内に 1 回となるよう頻度を見直す必要がある。
- ・中山橋について、下部構造前面の土砂が流出し杭基礎に大きなひびわれがみられるため、次回点検時にひびわれ幅や密度、傾斜の有無等を確認し、進行性が確認された場合は対策の必要性を検討することが望ましい。

以上